

# Santa Journal

Hirosaki Houtokukai Public Relations

vol.7

夢や希望を乗せて



暑い日差しにもかかわらず、夏祭りに参加して楽しんでいる方々

平成24年7月28日、サンタハウス弘前最大のイベント、夏祭りが開催され、今年は地域住民、入居・利用者等含め約600名以上参加されました。

催し物では、弘前学院聖愛高等学校チアリーディング部の演技が好評で、彼女らの元気溢れる演技に会場全体が笑顔一色となりました。そのほか、食のコーナーではホタテ焼きが例年通り大人気。遊びのコーナーでは子供だけでなく、大人も混ざり楽しむ姿が見られました。（2ページ目に思い出写真を掲載しましたのでご覧ください。）

**第16回夏祭り**

# 夏祭りの思い出



活気あふれる会場に笑顔があふれていました。



ゲームで一等賞おめでとう!  
いい景品があったかな??



鰯ヶ沢名物いか焼きを販売する  
三ツ谷様。本当にありがとうございました。



エコル

熟練された踊りと歌声が、常夏の島ハワイの風を運んできたようでした。



mammy-sino  
彼女の歌声は観客全員に感動を与えてくださいました。



聖愛高等学校チアーディング部の皆さん  
が夏祭り最初のイベントとして登場。

たくさんのご来場  
ありがとうございました!!



平成24年8月、送迎業務に携わる職員等47名を対象に運転に関わる性格判断テスト（OD式安全テスト）を実施しました。この検査は、普段自分でも意識することのない行動傾向を学ぶことを目的としており、送迎業務者にとつては事故の予防対策として期待しております。

また同月、弘前モータースクールの職員2名を講師に招き、交通安全講習を開催しました。事故が起きやすいポイントやどのような時が一番危険なのか事例を用いながら説明する他、テレビなどでお馴染みの脳トレーニング「アハ体験」を用いるなど、注意力の難しさを体験しました。



交通事故が企業に及ぼす  
影響等を説明する様子



受講者47名は集中してテストに向かっていました。

## OD式安全性テストの実施

現在  
実施中

# 独立行政法人福祉医療機構 平成24年度社会福祉振興助成事業 被災地要介護者の移送・遠隔面会支援事業

社会福祉振興助成事業のイメージ



社会福祉振興助成事業は、国から補助金を受けた福祉医療機構（WAM）が、民間福祉活動団体からの応募申請を審査・採択し、助成金を交付する事業です。今年度は東日本大震災に係る支援活動に重点が置かれています。

## 社会福祉振興助成事業とは

弘前豊徳会は昨年度、独自の取り組みとして東日本大震災の被災地支援を行ってまいりましたが、その中の「無償での送迎」をはじめとするいくつかの取り組みが、平成24年4月13日、独立行政法人福祉医療機構（WAM）より平成24年度社会福祉振興助成事業として認められました。事業は現在進行中で、翌年3月31日に完了する予定です。

弘前豊徳会の被災地支援の取り組みが、社会福祉振興助成事業として認められました。



昨年度中に介護老人保健施設サンタハウス弘前に入所された方の中には、地元に戻られる方も。

上の写真は、岩手県宮古市の特別養護老人ホームに入所する方をお送りした時のもの。



震災から1年以上経過しても、被災地の介護施設の状況はまだ改善されていない。

地元の施設に入れず、サンタハウス弘前に入所される方も。写真は大船渡市の病院より受入れのためにお迎えにあがった時のもの。



福島県の避難指示解除準備区域は、立ち入りこそ可能だが風景は当時のまま。



震災時、気仙沼の道路沿いに打ち上げられた船。今は周囲の瓦礫が撤去され、向日葵が咲く。

福祉医療機構の助成を受け、弘前豊徳会は以下の取り組みを行っています。

### ① 弘前・被災地間の要介護者の移送支援（無償送迎）。

### 被災地要介護者の移送・遠隔面会支援事業



弘前と被災地。遠く離れていても、IT技術を利用し、コミュニケーションを取ることが可能に。

② タブレット端末（ipad）とインターネットを利用して、ビデオ電話による『遠隔面会』の実施。



行政機関、医療機関、介護施設等を訪問し、当事業の説明と各地の状況確認を行う。

③ ①、②の取り組みの周知と、被災地の現状（復興状況）確認を目的とする、被災地訪問活動。